

学校だより

# プラタナス



令和2年5月21日(木)

No.8 市川市立市川小学校  
校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>



## 何でもない普段、当たり前とっていたことを大切にしたい

私の父母は介護施設で生活をするようになって2年近くになります。3年前の日記を読み返してみる機会がありました。そのころ元気だった二人と一緒に食事をして、嬉しそうに食べる姿を見ながら、こうした何でもないことがいつまでも続くことを願う文が記されていました。

そんなことを思いながらふと、大手電機メーカーの以前のキャッチコピーを思い出しました。

### 『なんでもないふだんを大切にしよう』

あなたがいて、 / すぐそばにあなたの家族の笑顔があって、  
それはきっと、なんでもない日の / なんでもない風景。  
でも間違いなく、 / 世界にたった一つのかげがえのない風景。  
ふだんを、もっととくべつに、 / もっとていねいに、積み重ねていけたら、  
それはとってもプレミアムだと思いませんか？

最後に、「なんでもないふだんの中にこそ、宝物がある」と添えられています。現在のコロナウイルス感染症に振り回されている世界にあって、「なんでもないふだん」に鈍感になっていた自分自身を感じます。

「不織布のマスクを手洗いして何度も使い続けることをしなくてもよい」「スーパーの棚に小麦粉やバター、ホットケーキミックスが所狭しと並んでいる」「百円ショップで何種類ものの中から好きな色柄の霧吹きが買える」など。もっと当たり前のことを言うと、「毎日学校に行ける」「思い切り友達と遊べる」「顔を突き合わせておしゃべりを楽しめる」「仕事に行ける」等、きりがありません。



谷川俊太郎氏の詩に「生きているということ、今生きているということ」というフレーズが強く響く『生きる』という作品があります。読んだことのある方も多いのではないのでしょうか。当たり前の事象、当たり前の毎日を鋭くキャッチする感性が溢れていてとても好きな作品です。そして、そうした事象一つ一つを宝物にしたいとも思います。

厳しい社会状況ではありますが、ゆったりとした季節の移ろいを喜び、さりげない心遣いに感謝し、耳や目に飛び込んでくる小さな音色や変化に感動する、そういうなんでもないことに幸せを感じるようでありたいと強く感じる現在です。そして、平和であること、大切な人と一緒にいて生きているからこそ享受できる幸せを今一度見つめ直して、「当たり前の毎日は、決して当たり前じゃない」ことをずっと意識し続けていけたらいいなあと思います。

### ■今日(5月21日)は何の日？

「小学校開校の日」。1869年、京都市に日本初の小学校「上京第二十七番組小学校」が開校しました。住民が自分たちで資金を調達して開校したものだそうです。ちなみに、明後日23日は「世界亀の日」。



## ほんの一字にギュッと思いを込めて

前号では、「ミツバチの一枚画」を学習課題としました。今回は、「自分の思いを漢字一字に込めるとしたら、あなたはどんな漢字に、どんな思いを込めて伝えたいですか」という課題です。これは、日本漢字能力検定協会が毎年行う「今あなたが贈りたい 漢字コンテスト」の内容です。このコンテストは広がりを見せて、ある教科書会社の3年生道徳の題材にも取り上げられています。おそらく6月になると募集がありますので、興味ある人は検索してみてください。

“家族や恋人、友人や恩人、そして自分自身にあてて…日頃は言えない素直な気持ちを、漢字一字に託して贈ってみよう” “誰かに贈る漢字を選ぶ、その時間は、自分自身や周囲の人々を見つめ直し、自分の素直な気持ちと向き合うことにつながります。そうして贈った・贈られた「漢字一字」は、かけがえのない一字として心に刻まれるでしょう”と募集要項には記されています。

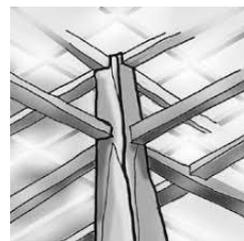
参考例として、過去の入賞作品を4つ紹介します。

### (1) お父さん へ 『記』

3才から毎日つづけているお父さんとの交かん日記。私は朝に日記を書いて、お父さんは夜に書いてくれるね。どんなにつかれて帰ってきて、次の日には日記を開けるとお父さんの字がかかっている。ありがとう。これからも私とお父さんだけの日記だよ。

### (2) おじいちゃん へ 『柱』

私の祖父の家の柱には、沢山の線と名前が刻まれています。祖父の家を訪れた親せきが刻んでいくのです。その線は私たちの成長の記録です。その線をながめながら「この柱はどれだけながめてもあきないな」とつぶやいていた祖父の姿が目につきます。



### (3) ママ へ 『箱』

箱の中には、ひみつの物、たから物、ママからももらったお手紙が入っているよ。心の中の箱には、ママにほめられた時のうれしい気持ちが入っているよ。ほかにね、すてきな大人になりたいゆめも入ってるよ。

### (4) 自転車 へ 『労』

毎日往復20キロの道のりご苦労様です。5日間で100キロ。高校3年間通しては日本を縦断できるほどの距離です。その間に多くの困難や故障、時には蹴られたり色々ありましたね。残りの4ヵ月もどうぞよろしくをお願いします。



休校期間中のいま、当たり前に見ていた身近な人(もの)に目を向け、じっくり立ち止まって考えてみる時間がとても大切だと思います。そして、ほんの一字に思いをギュッと込めた作品が仕上がったら、参考例にある要領で記載して、来校あるいは登校した際に、校長室前の青い箱に投函してください。学年・学級・氏名も忘れずをお願いします。保護者の皆様からの作品もお待ちしております。それらを紹介できる日を今から楽しみにしているところです。

ちなみに、私がすぐに思い浮かぶ文字は『健』。給食がないので、毎日弁当を作ってもらっています。過去にも何年も作り続けてもらってきたので、私の健康の源と言えるからです。